

14219 ヨーロッパの歴史と文化Ⅱ History and Culture of Europe II 14148 西洋文化史（後期分）		2 年次～ 後期 2 単位	
担当者	掛川 富康	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	教職・学芸（C） 学芸（E・Pe・Pc）
サブタイトル	西洋近代と現代の文化・社会・人間－メディアと基本用語を通して理解する－		
授業内容 ・ ねらい	西洋の近代（ルネサンス・宗教改革・バロック時代・啓蒙主義・ロマン主義）と現代（第一次世界大戦以降）の基本傾向を理解する。とくに古代と中世の文化を振り返りながら理解します。メディア（DVD・CD等）を活用し、近代の古典的テキストと基本となる参考文献を使用しながら進めます。参加者は、西洋の近代と現代に関する基本的な知識の獲得を目指しながら、メディアを通して得た経験を文章化することを目指してほしい。予習としては、それぞれ自分に関心のある文化領域への関心を深め、その関心を整理しておくといいでしょう。知識を獲得したか否かは、レポートという言葉による表現を完成してはじめて検証出来るものなので、レポート作成を重視します。その指導も行います。		
授業計画	(1) 西洋文化について論じるとは－文化学・文化史 (2) 基本用語（古典主義、ロマン主義等）を理解する。 (3) 西洋近代文化の諸問題 ルネサンス－宗教改革 (4) 西洋近代文化の諸問題 －バロック期－啓蒙主義 (5) 西洋近代文化の諸問題－ロマン主義 (6) メディアによる理解 (7) メディアによる主題の発見 (8) メディアのテーマの整理・表現 (9) 西洋の現代文化 地中海文化の特色	(10) 西洋の現代文化 北ヨーロッパの文化の特色 (11) 西洋の現代文化 南ヨーロッパの文化の特色 (12) メディアによる理解 (13) メディアによる主題の発見 (14) メディアのテーマの整理・表現 (15) 西洋文化と現代世界 *メディア－時代精神を表している名作を鑑賞したい。 未定ではあるが、R. クレール、J. ルノワール、L. ヴィスコンティ、A. ワイダの作品などを予定。	
教科書 参考書	参) ヘーゲル『美学講義』全3冊 作品社、J. ブルクハルト『イタリア・ルネサンスの文化』、スタール夫人『ドイツ論』、E. R. クルツイウス『フランス文化論』その他。		
評価方法	レポートを2回（6月、学期末）提出してもらいます（予定）。出席も重視します。		
事前準備学習 履修条件等	西洋史などを通して、西洋の歴史についての概観を得ておくといいでしょう。		